

令和7年度 地域デザイン科学研究科経済経営専攻
入学試験問題（一般入試 C日程）

専門科目：政治経済学

次の設問 1～7 のうちからふたつを選択し、設問の指示に従って解答しなさい。
解答の冒頭には選択した設問番号を書きなさい。

設問 1

貨幣は存在するものの金融は未だ行われない社会において、貨幣は商品である
と考えることができるか否かを、マルクス経済学の考え方をふまえて、解答用紙
の 15 行程度で説明しなさい。

設問 2

資本主義社会において、生産過程すなわち価値増殖過程を内包している産業資
本（家）が利潤を獲得できることは不思議ではないとしても、生産過程を内包し
ていない商業資本（家）や銀行資本（家）が利潤を獲得できるのはなぜなのか、
解答用紙の 15 行程度で説明しなさい。

設問 3

イギリスでは 1825 年恐慌をはじめとして以後ほぼ 10 年おきに 5 回の恐慌が
発生したことが知られているが、この循環性恐慌がなぜ始まり、なぜ終わったの
かを、資本主義社会の発達過程と関連づけて、解答用紙の 15 行程度で説明しな
さい。

設問 4

「労働力の再生産」はふたつの領域を含んだ概念である。①それぞれの領域の概
要を説明しなさい。そのうえで、②私たちが暮らしている現在のこの社会におい
て、ふたつの領域における再生産の条件はどの程度保障されているといえるか、
その現状を述べ、保障の程度を判断する根拠を述べなさい。①と②をあわせて解
答用紙の 15 行程度を使うこと。

設問 5

所定内労働時間が正社員に近い「基幹化」された「パートタイマー」についても、同じ事業所で働く正社員との間に賃金をはじめとする処遇、機会の格差が存在することはこれまでも指摘されてきた。格差のあるところでは格差の根拠が問われることになる。「基幹化」された「パートタイマー」と正社員の間の格差の根拠も、すでにいくつかの説明が試みられてきた。それはどのような説明か。解答用紙の 15 行程度を使って述べなさい。代表的な論者名に言及することが望ましいが、言及はなくてもよい。解答にあたっては「基幹化」「パートタイマー」の「」は省いてよい。また、この処遇格差をどうするべきか、正社員と非正社員の関係がどうあるべきかは問うていない。

設問 6

21 世紀もその四半となった今、「雇用を通じた生活保障」という理念と制度的営為に対してはその功罪が指摘されている。「雇用を通じた生活保障」という理念と制度的営為の具体的な内容と、その「功」と「罪」を整理して解答用紙の 15 行程度を使って述べなさい。

設問 7

a 直接雇用、b 労働者派遣、c 業務請負それぞれの特徴を、1) 労働給付の提供対象 2) 反対給付の主体と形態 3) 指揮命令権の有無と所在 4) 安全管理義務の有無と所在 5) a~c それぞれが普及している具体的な産業分野(職業領域)に言及しながら解答用紙の 15 行程度で説明しなさい。